

5・28東日本大震災 救援・復興シンポジウム

“原発震災” &

“被災者の生活・住宅再建”を考える

大震災から2ヶ月近く経ったにもかかわらず、家族や自宅を失い避難所生活を送る人びと、これからの生活に希望を見出せず途方に暮れる被災者に、政府はどのような具体策を打ち出し、手を差し伸べているのか。

被災者救済の課題解決策を臨むにおいて、政府の復興構想会議では、「単に元に戻す野ではなく、未来の社会をつくる“創造的復興を”」「農地と漁港の集約を、効率化を」「復興財源として3%の消費税増税を」などが語られています。大震災被災者の救援・復興の現状・課題を考え、取り組みの方向を話し合います。

■日 時:2011年5月28日(日)PM1:30~5:00

■会 場:たちばな職員研修センター(3階研修室)

(右下の地図をご参照下さい)

◆参加費:1000円

■報告者:

◎福島第一原子力発電所事故対応をめぐって

西川 榮一(神戸商船大学名誉教授)

◎現地調査報告&

復興構想会議の“創造的復興”とは何か

塩崎 賢明(神戸大学大学院工学研究科教授)

◎現地調査報告&

被災者救済の現状と課題

津久井 進(兵庫県弁護士会災害復興等
支援委員会委員長)

進行:出口 俊一

(兵庫県震災復興研究センター事務局長)

◆主 催:兵庫県震災復興研究センター

〒650-0027
神戸市中央区中町通3-1-16,サンビル201号
電話:078-371-4593/FAX:078-371-5985
Eメール:td02-hrq@kh.rim.or.jp
ホームページ:http://www.shinsaiken.jp

◆参加申込書◆

[人]シンポジウム

お名前 _____

TEL _____

FAX _____

